



道連ニュース

2012年4月号 No.70

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

TPP協定交渉に関する中央要請が実施されました！

～ 北海道生協連から、前濱喜代美理事(コープさっぽろ理事)が参加 ～

4月末に野田首相が訪米する際TPPへの前倒りのめりな発言をしないよう、4月6日北海道知事、関係団体を含む総勢26名で民主党、経産省、農水省、国家戦略室、外務省へ要請を行いました。

知事からは十分な情報提供と国民的議論を展開することを求め、JA道中央会や道農民連盟、道経済連合会などの各団体から、TPPに参加してのメリットがどこにあるのか、逆にデメリットについての情報が無いこと、農業の多面的機能も損なわれることなど意見が出されました。民主党逢坂氏は「慎重にすべきと考えている。アメリカとは国情が違う。賛成・中立・反対



逢坂民主党副本部長に要請書を手渡す高橋知事

の3名の議員がアメリカに行って調査する」、経済産業副大臣の牧野氏は「世界が大きく動いていく中で日本がど

うしていくか。光と陰があるが陰を克服する政策をしっかりしていく」、国家戦略担当古川氏は「国益を考え取



道選出議員とともに農水省へ要請

り組む。アジアの成長を取り込んでいく」、外務大臣政務官中野氏は「交渉のテーブルにつかないと情報が分からない中で出来るだけ情報を得る努力をしている。国益にかなわないことをするつもりはない。農業再生はTPPと別に考えていくべき」と話しました。

＜要請内容＞

①TPP協定交渉に関する要請書(北海道ほか19団体)、②包括的経済連携等に係る要請書(北海道農業・農村確立連絡会議)の各要請書は、当連合会のHPに掲載していますのでご参照下さい。

生協法改正要望書が3月末に提出されました

～生協法5年後見直し検討委員会「最終報告」ヒヤリング会が10名で開催～

3月27日、小樽商科大学札幌サテライトにて、ヒヤリング会が日生協会員支援本部・法規会計支援室長の宮部好広氏を講師に開催されました。参加はビジョン(会計基準)検討会のメンバーだった、山崎会計士・



日生協宮部室長を講師に、多木誠一郎小樽商大教授も交えて行われたヒヤリング会

山田 税 理 士・大橋 芳 金 専 務・東 コープ さ っ ぽ ろ 管 理 部 長・嶋 崎 大 学 事 業 連 合 専 務 補 佐 や 多 木 商 大 教 授・河 原 福 祉 生 協 理 事

長・広田コープさっぽろ常勤監事の方々でした。

宮部氏からは日生協理事会が確認し厚労省に提出した要望書の基調は、前回改正の基本的枠組みを前提に、生協がその特性を活かし社会的役割と責任をはたし続けるための基盤となる制度整備を求めることです。具体的には①会計監査人設置の義務化は避けた、②TPPの動きはあるが共済関係要望は慎重に、③生協のスタンスを明確にしながら会計については必要な見直しを検討する場を設置、④員外利用可能なケースの追加、⑤労金などの共済連への出資可能になどです。

今後は必要に応じてヒヤリング会メンバーでの開催や会員生協向けの学習の場の設定を迫及していきます。又、2012年末～13年始での政党・国会議員要請など継続的に取組みを進めることが期待されます。

新生1万人を迎え、新学期の取り組みも多様化する大学生協

道内12の大学生協は、初めて大学に入学してくる学生とその保護者の疑問や不安を解消し、スムーズに大学生活を始められるよう、前年の夏から準備を開始し、今年も約1万人の新生を迎えました。

生協加入、共済加入のご案内を始め、新生活を始め



TOEIC キットのガイダンスを受ける
新生:室蘭工大学生協

るための住居の紹介・斡旋、その住居内で使用する新生活用品の販売・取付けやインターネット回線の開通手続き、パソコン・電子辞書の販売を行っています。各事業領域とも今年は例年に比べ非常に苦戦しております。各家庭の経済状態は一層厳しさが増しているようです。事業活動だけではなく、入学後の不安解消のための履修相談会や友達作り企画などを先輩学生主体で作り上げ提供していることも大学生協の特徴です。

入学式後初めて新生がキャンパスにあふれ、教科書の販売はもちろん、パソコンの使い方講習会やTOEICトレーニング用のキットのガイダンス等を行います。ほとんどの大学では学生証に大学生協の電子マネー機能が搭載されており、食堂では年間利用できる定期券（ミールカード）もご利用いただいています。毎年新しいサービスが提供できるよう今後も活動を始めていきます。

北海道労済生協

出前講座「ぼうさいカフェ」を開催しました

4月15日(日)、全労済北海道本部会館において地域の親子連れ約50人が参加し「ぼうさいカフェ」が開催されました。ぼうさいカフェは内閣府が国民の防災意識を高めてもらうため気軽に参加できる出前講座として推奨しているもので、全労済北海道では初めての開催となりました。

防災科学実験ショーでは「防災科学技術研究所」の総括主任研究員、納口恭明さんが「ナダレンジャー」に扮し、子供たちに雪崩や地震の仕組みを知ってもらおうと発泡スチロールの粉を入れたビニールを傾け、渦が膨れ上がる様子を見せたり、水を満たしたペットボトルを使って液状化現象を分かりやすく説明しました。

また、消防署から防災・減災に向けた講座や車椅子を使った介護実習も行われ、実際に車椅子に乗って坂道や階段を上り下りする際の注意する点について学びました。講義の合間には非常食の試食も行いながら、防災についての正しい知識と日頃から自然災害に備える重要性を学びました。



地域住民の親子50人が
楽しく学んだ防災



車椅子での実習の様子

お知らせ 北海道庁所管部の人事異動(2012年4月1日発令)

〔環境生活部 くらし安全局 消費者安全課 消費企画グループ 生協担当〕

(敬称略)

住所	060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目	電話	011-231-4111	FAX	011-232-3640
環境生活部長	(新任) 伊藤 邦宏	消費者安全課長	(新任) 近藤 隆	環境生活部 次長	(新任) 和田 秀樹
環境生活部 次長	(新任) 和田 秀樹	消費企画グループ 主幹	(新任) 宮岸 亘	くらし安全局長	(新任) 浜田 美智子
くらし安全局長	(新任) 浜田 美智子	" 主任	荒木 祐亮		